



# 久里浜こころのケアチーム35班 活動状況(H23.11.1~4)

吉村 淳Dr 石井こずえNs(東6) 前園真毅  
PSW





東京9:40発



12:20  
一関のホームの様子  
平泉観光客が多い

# 初日移動

一関保健センターは駅西口より徒歩7分。センター武田氏に挨拶後、駐車している車に乗る。



大船渡までの途中。陸前高田にも仮設だがイオンスーパーがオープン





# 活動概要



◆ 訪問: 8件



男5  
名

AL4  
67・69・  
73・74歳

適応障  
害1  
(30歳)

女性  
3名

PTSD  
74歳

不安  
不眠  
38・39歳

◆ キャンセル2 新規1

◆ 電話でキャンセル2件「祝日なので東京から家族が来る」「友人のお見舞いを優先したい」

◆ こころの相談室は祝日のためなし。

写真は、使用目的(報告会のみ)を説明の上、ご本人様の許可を経ています。



# 訪問・ケース

- 継続ALの3ケース
  - 新規 30代
  - 70代 男 AL(継続)
- ◆ 共同通信社(仙台支局)  
同行取材(11/3,4)

「阪神の時と同様に被災後のAL問題が増加・表面化していることの確証を現場の専門家チームの行動やコメントから得たい」

(T記者)



# 関係機関とのミーティング

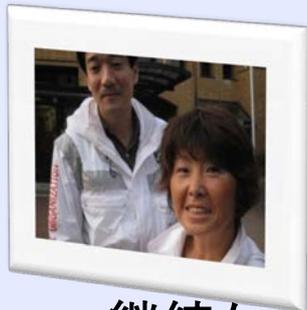
## 介護保険センター



- ◆ 他県活動チーム
  - ①ろっこう医療生協 ②あいちネット ③相模原市
- ◆ 保健所（佐藤PHN）・社協・保健センター・大船渡HP  
薬剤師会・医療生協・・・・・・・・・・・・・・・・総出席22名
- ◆ 各チームの活動状況を簡略に報告及び連携チームとのCC
  - ・大船渡HP千葉Drと情報交換（火～金/佐々木NS窓口）
- ◆ 11/3の内容
  - ・救急薬セット300配布（説明含・11/5）
  - ・千葉Dr11/1にALケース入院（久里浜紹介ケース）
  - ・0157・レジオネラ・マイコプラズマ報告有
  - ・インフルエンザ：65歳以上1500円/ユニセフより助成有
  - ・仮設は火事を考慮してホットカーペット/消火器/みかん一箱など  
他県から物資が配布
  - ・在宅被災者と仮設住宅被災者との格差（物資配給など）

★34班チーム  
らが配布した  
ちらしをさまざま  
なところでみ  
ました。

# 最後に



- ・ 継続ケースは、これまでの活動から十分な治療関係性が構築されており、必要な治療介入するタイムリーに行える状況。
- ・ 「これまで大船渡病院しかなくて、意識的な垣根だけが高くてわからなかったけど精神科の治療やその利用がわかってきました（学校教諭）」など長期にわたる地元の他機関との連携の中、地域精神保健の質の向上にも寄与できている。
- ・ その一方で、被災が直接的な要因でない通常の精神科相談も増えていく印象を受けました。



- とある学校の保健室を借りての診察を終え校庭でサッカーをする少年らを眺める。  
(大船渡市立根)



- 気仙沼の様子



- 県立南光病院  
アルコール診療・児童外来等  
(一関より車で10分)